

＜堺市＞

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- 会計年度任用職員の学校司書の配置
(中学校週2日、小学校週2日)
- 学校図書館サポーター(有償ボランティア)の回数配置
(中学校年間72回、小学校年間107回)
- 拠点校学校図書館職員等による巡回訪問
- 市立図書館による団体貸し出しの実施(運搬も行う)、子ども読書の日の読み聞かせ、図書館見学の実施
- 選書支援
- 子ども司書体験の実施

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- 堺市学校図書館協議会では、会長、副会長、顧問、代表幹事、幹事、委員をおき、読書感想文コンクール、読書感想画コンクールを実施している。
- 委員には、小学校では各校より司書教諭や学校図書館担当職員が、中学校では学校図書館部会担当の教職員がなっている。
- 初等教育研究部会、中学校教育研究部会に学校図書館部会を設置している。

3. 学校図書館の具体的な活動例

- 学校図書館教育を推進するために拠点校を1校(中学校)指定している。
- 初等教育研究会や中学校教育研究会の部会において、各校の実践を随時発表している。
- 6月に全校に要項を配布し、8月末に作品の募集を行っている。各学校内での1次審査、学校図書館担当教員による2次審査、図書館部会の教員や担当校長による3次審査の上、大阪府読書感想文コンクールへの応募作品を決定し出品している。
- 11月に堺市の読書感想文コンクール表彰式を開催している。
- 12月に堺市の読書感想画コンクール審査会を行い、大阪府読書感想画コンクールへの応募作品を決定、出品している。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- データベース化し、PCで管理している学校が増えてきている。

- ソフトは、購入時は市教委に報告し、各校の状況にあわせて購入している。市教委による予算化はしていない。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- 堺市読書感想文コンクールでの特選、優秀作品を掲載した作品集の作成を行っている。
- 年に1回、「学校図書情報」(リーフレット)を全校配布し、読書感想文コンクール、感想画コンクールの入賞者一覧や、協議会会長、市教委、初研・中教研部会代表による寄稿文を掲載している。

6. タブレット導入について

- 市内の全学校図書館においてWi-Fi環境が整備されており、学校図書館での図書とタブレットを併用した調べ学習の実施を促進している。
- 令和4年度から、タブレットを活用して読書の記録ができる電子版「読書ノート」の運用を開始した。
- 電子版「読書ノート」の活用については、学校によって差がある。「読書ノート」を使用活用する児童生徒数は減少しているが、うまく活用している事例を発信する等の取組を発信することで、読書習慣の定着をめざしている。

＜泉大津市＞

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- 小中学校に図書館司書を各1名配置。雇用形態は会計年度任用職員。(週4日19時間勤務)

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- 管理職の顧問を中心に、各校の読書感想文担当者が年4回集まり、読書感想文・感想画コンクールの業務や情報交換等を行っており、市内の審査はこのメンバーで行っている。また、読書感想画コンクールについては、市教育研究会図書部会と連携して、取りまとめ及び審査を行っている。
- 市教育委員会主催で、図書館担当者連絡会と司書連絡会を複数回開催。

3. 学校図書館の具体的な活動例

- 市内8小学校中5校において、地域への図書館開放を行った。(学校により、平日開催、休日開

催がある。貸出業務はしていない。運営は地域人材で行い、コミュニティスクール支援事業として、市の補助金や教育委員会のサポートあり。読書活動のほか、地域交流の拠点としてイベント等にも活用している。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・市立図書館（シーブラ）と学校図書館間のシステム一元化に伴い、学校図書館で個々に管理していた図書のデータや表示を統一化。市立図書館職員が各学校に出向き、ラベル・バーコードの不一致の解決を図る。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・システム一元化に伴い、授業で図書館の使い方や請求番号の説明等の指導が可能となり、学校図書館の「情報センター」「学習センター」機能の強化を図っている。

6. タブレット導入について

現状

- ・市内全校の全児童生徒 1 人 1 台タブレット (iPad) を配布済み。授業ではロイロノート、タブレットドリル等を使用。また、グーグルクラスルームでのリモート授業を行っている。総合の授業ではプログラミング作成にも使用。
- ・電子書籍サービス School e-Library を本市で一括導入し、全児童のタブレット端末からいつでもどこでも読書ができるようになっている。(令和5年度末で終了。)

問題点

- ・タブレット端末の故障・入れ替え等の費用負担
- ・家庭での使用マナーを徹底しにくいこと。
- ・教員の ICT 操作スキルの向上が必須。
- ・Wi-Fi 環境等接続が不安定な時があること。

<和泉市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・各校に学校図書館支援司書が1名配置されており、図書館運営の支援をおこなっている。

2&3. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

○ 小学校

和泉市小学校教育研究会図書館教育部会で

は年間6回の研究会を開き、本の紹介、講師を招いての研修、図書館等の施設見学、各校で取り組んでいる委員会活動の報告等を行っている。

○ 中学校

和泉市中学校教育研究会図書館教育部会では年間4回の研究会を通じて、研究課題について協議・検討し、学校図書館のあり方について考えている。令和4年度は、「学校図書館を利用した調べ学習」に関する公開授業を2回実施し、研究を深めた。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・小学校20校中8校・中学校9校中3校・義務教育学校1校中1校が、図書の電子管理システムを導入している(令和3年6月時点)。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・和泉市の電子図書館の利用が、市内全児童・全生徒が可能となる。
- ・市立図書館と連携しながら、学校図書館の活用を推進している。

6. タブレット導入について

- ・Google classroom やロイロノートなどの活用が各学校で進められ、授業や家庭での活用が定着しつつある。
- ・令和4年度からは市全体にAIドリル(キュービナ)が導入され、活用が進められている。

<高石市・忠岡町>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

- ・学校司書が各校週2日勤務で1名配置、その他、学校図書館サポーターがボランティア(有償・市費)で配置されている学校もある。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・高石市忠岡町小学校教育研究会図書館部会では年7回の研究会を開き、各校の図書館教育の交流や、読書感想文の地区審査についてはオンラインにより開催している。

3. 学校図書館の具体的な活動例

市内において、学校図書館を活用したモデル校が秋に研究発表をおこない、市内の小中学校に発信した。また、確かな学びを育む推進校

(TM校)が、国語科の授業改善を推進する中で、並行読書をとおして個別最適な学びと協動的な学びを研究し、大阪府内外に子どもの姿で発信した。こうした取組みを通して、子どもたちが、学ぶことの必然性を実感するとともに。本との豊かな出会いを大切にしながら、子どもの主体の学びを大切にしている。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・市内の全ての学校でコンピュータ化、蔵書データのMARCを使用し一元管理している。

5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

- ・読書ノート
書名と感想を書き、ノート1冊分記入すると表彰している。
- ・市立図書館と連携しながら学校図書館の活用を推進している。
- ・広場読み
- ・研究発表会への参加

6. タブレット導入について

授業実践へのICT機器、とりわけ一人1台端末の導入はコロナ禍を背景に急速に進んでいる。

急速に普及するICTの活用にあたっては、セキュリティ保持といった面での問題や利用の仕方そのものの教員研修、さらには児童生徒の利用モラルの指導といった面での研修とあわせて、教科等の指導の本質的なねらいを実現する手段としていかに効果的にICT、とりわけ一人1台端末を学習指導に取り入れていくのか、個別最適で協動的な学びを推進していく上で、児童生徒がお互いを尊重し合える人間関係を構築していくツールとして、一人1台端末の活用が求められる。

<泉北地区 コンクール活動>

「読書感想文・読書画コンクールについて」

<堺市>

○読書感想文コンクール

- ・応募締切（学校代表の第一次審査）

8月30日（火）

- ・地区審査会（メールによる第二次審査）

9月21日（水）

- ・地区審査会（第三次審査）

9月27日（火）

○読書感想画コンクール

- ・応募締切 1月10日（火）
- ・地区審査会 1月10日（火）

<高石・忠岡ブロック>

○読書感想文コンクール

- ・応募締切 9月 6日（水）
- ・地区審査会 9月13日（水）

○読書感想画コンクール

- ・応募締切 12月 6日（水）
- ・地区審査会 12月13日（水）

<泉大津市>

○読書感想文コンクール

締め切りは2学期始業式、審査は9月8日

- ・第1回図書館教育担当者会（7月6日）・・・
読書感想文コンクールについて
- ・第2回 // （9月8日）・・・
読書感想文審査会

○読書感想画コンクール

提出期限 令和5年11月30日

提出先 浜小学校（西尾まで）

泉大津市審査会（代表作品の選出）

12月10日

<和泉市>

○読書感想文コンクール

地区審査日 9月3日

○読書感想画コンクール

地区審査日 12月6日

地区審査担当者 中野 剛寛

（和泉市立北松尾小学校）

各校担当者にメールで開催案内を実施要項データとともに送付